

製品名: IGFBP6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12431**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	IGFBP6
別名	IGFBP6; IBP6; Insulin-like growth factor-binding protein 6; IBP-6; IGF-binding protein 6; IGFBP-6
遺伝子 ID	3489.0
SwissProt ID	P24592
免疫原	抗血清はヒト IGFBP6 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

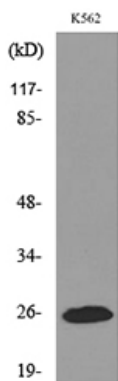
背景

機能: IGF 結合タンパク質は IGF の半減期を延長し、細胞培養における IGF の増殖促進効果を阻害または刺激することが示されている。IGF と細胞表面受容体との相互作用を変化させる。、PTM: O 結合型グリカンは、ヘキソース (おそらくガラクトシダーゼ)、N-アセチルヘキソサミン (おそらくガラクトシダーゼ NAc)、およびシアリン酸残基からなる。主要なグリコフォームは、8~16 個の単糖からなる (CHO 細胞で組み換え発現した IGFBP6 との相同性による)。、類似性: 1つの IGFBP N 末端ドメインを含む。、類似性: 1つのチログロブリン 1 型ドメインを含む。、機能: IGF 結合タンパク質は IGF の半減期を延長し、細胞培養における IGF の増殖促進効果を阻害または刺激することが示されている。これらは IGF と細胞表面受容体との相互作用を変化させます。、PTM: O 結合型グリカンは、ヘキソース (おそらくガラクトシダーゼ)、N-アセチルヘキソサミン (おそらくガラクトシダーゼ NAc)、およびシアリン酸残基から構成されます。主要なグリコフォームは、8~16 個の単糖で構成されています (CHO 細胞で組換え発現させた IGFBP6 との相同性により)。、類似性: IGFBP の N 末端ドメインを 1つ含みます。、類似性: チログロブリン 1 型ドメインを 1つ含みます。、

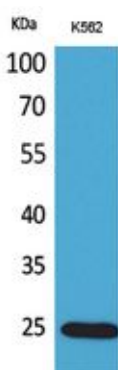
研究分野

神経科学

画像データ



IGFBP6 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタン プロット分析。



IGFBP6 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンプロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。